

3 民生費 1 社会福祉費

- 1 鉱山地域住民タクシー経費
鉱山地域住民の交通の便を確保するため、タクシー料金の一部について助成する。
利用世帯数 1世帯（月2往復）
- 2 無料法律相談業務委託料
交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所で弁護士による相談を行う。
会場での無料法律相談を開催（月1回、6名）
弁護士事務所での無料法律相談（月6名）
- 3 社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫）
低所得者世帯に対する応急援護資金等の貸付のため、社会福祉協議会に対し原資を貸付けする。
- 4 民生委員児童委員活動経費
市内各地区の民生委員児童委員の活動を推進する。
- 5 社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金
社会を明るくする運動登別地区実施委員会が行う街頭啓発、公開ケース研究会など犯罪防止啓発事業を支援する。
青少年の非行防止と更生保護の啓蒙のための街頭パレード
青少年の非行防止のための地域懇談会及び公開ケース研究会
映画、ポスター、リーフレット、広報等による啓発活動 等
- 6 連合町内会助成金
登別市連合町内会（11地区の連合町内会で構成）の活動を支援する。
町内会共催事業の推進 各種研修会の開催及び参加促進
連合町内会運営経費
- 7 町内会運営助成金
地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会の運営を支援する。
助成団体数 95町内会、1地区連合町内会
- 8 防犯灯設置事業補助金
町内会などが地域の安全を確保するために整備する防犯灯の設置費や改修費に対し補助する。（補助率 3分の2以内）
- 9 室蘭登別防犯協会連合会助成金
犯罪の未然防止と暴力を追放し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて活動する室蘭登別防犯協会連合会を支援する。
各種広報・啓発活動実施、啓発看板・ポスターの作成、地域安全ニュースの発行

- 10 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金
市内から暴力団を追放・排除し、安全で安心して暮らせる明るいまちづくりの実現に向けて活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会を支援する。
各種広報・啓発活動実施、啓発看板・旗・チラシの作成、手づくり祭りの支援
- 11 民生委員児童委員協議会補助金
市内各地区民協との相互連携、活動の充実及び民生委員児童委員の連携と親睦を図るため、民生委員児童委員協議会に対し補助する。
- 12 登別地区保護司会補助金
保護司会の活動の充実を図る。
- 13 地域福祉活動促進事業補助金
在宅福祉の向上など地域福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会に対し補助する。
地域福祉事業、ボランティアセンター事業、在宅福祉事業
- 14 社会福祉事業推進補助金
福祉ニーズに応え、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」に取り組むため、職員を効果的に配置し、事業の拡大・充実を図り、又、民間福祉活動の育成及び充実・発展のため、福祉活動専門員を設置し、活動体制の強化を図るため、社会福祉協議会に対し補助する。
- 15 日胆はまなす里親会補助金
里親制度の向上を図り、児童福祉の向上に寄与する。
- 16 アイヌ文化普及啓発事業補助金
アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承を果たす活動を行う北海道ウタリ協会登別支部に対し補助を行う。
事業内容 アイヌ語教室の開催、イチャルパへの参加、アイヌ民族文化祭への参加講演会、刺繍教室の開催、ウタリ協会ホームページ作成等
- 17 アイヌ文化講座経費
アイヌ文化の普及と地域住民との交流を図るため、文化講座を開催する。
活動内容 アイヌ刺繍教室、トマ織教室
- 18 第21回アイヌ民族文化祭補助金
アイヌ民族文化の保存伝承を目的に開催されるアイヌ民族文化祭を支援する。
開催予定 期 日 平成20年11月
開催場所 むかわ町
内 容 古式舞踊、アイヌ語劇、民族資料展示等

19 生活交通路線維持対策事業費補助金

市民の生活に必要なバス路線の維持が、自家用車の普及により困難となっていることから、国及び北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して補助金を交付し、バス路線を維持する。

補助路線数 9 路線

準生活交通路線 1 路線（負担割合道 1/3・市 2/3）

市生活交通路線 8 路線（市単独補助）

20 障害認定審査会経費

障がい者の介護給付サービスにあたり、障害程度区分認定のため審査を行う。

委員数 10名 年間開催回数 26回

主治医意見書作成件数 100件

21 介護給付費・訓練等給付費

障害者自立支援法による障害福祉サービス等に係る介護給付費・訓練等給付費等を支給する。

国保連支払審査手数料	389件/月	居住系サービス	203件
訪問系サービス	61件	・共同生活介護（ケアホーム）	26件
・居宅介護	53件	・共同生活援助（グループホーム）	28件
・重度訪問介護	3件	・施設入所	7件
・行動援護	5件	・旧体系身体入所更生	11件
日中活動系サービス	125件	・旧体系身体通所更生	7件
・生活介護	26件	・旧体系身体入所療護	13件
・児童デイサービス	50件	・旧体系身体入所授産	4件
・短期入所（ショートステイ）	15件	・旧体系知的入所更生	58件
・自立訓練（機能訓練）	6件	・旧体系知的通所更生	4件
・就労移行支援	7件	・旧体系知的入所授産	16件
・就労継続支援（A型）	6件	・旧体系知的通所授産	26件
・就労継続支援（B型）	15件	・知的通勤寮	3件

22 自立支援医療費

障害者自立支援法による自立支援医療（更生医療）に係る医療費を支給する。

身体障害者の更生医療に係る給付費見込数 実97名

23 障害者補装具給付費

障害者自立支援法による補装具給付等に係る費用を支給する。

障害児対象給付見込件数 実 100件

障害者対象給付見込件数 実 250件

24 高額障害者福祉サービス経費

障害者自立支援サービスに伴う利用者負担が世帯上限額を超えた場合に、利用者の負担を軽減するため、その超えた分を支給する。

25 地域生活支援事業費

障害者自立支援法に定める障がい者（児）の地域生活支援に係る事業を実施する。

- 日常生活用具給付費
障がい者（児）に対し、日常生活用具の給付を行う。
給付見込件数 983 件
- 障害者自立更生促進助成事業費
在宅の障がい者に対し、自立更生に要する経済的負担を軽減し、社会活動への参加の促進を図る。
自動車運転免許取得費助成 2 件 自動車改造費助成 3 件
- 総合相談支援事業費
障がい者等の相談に応じて必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用に関する援助、調整などの支援を行うとともに、地域関係機関のネットワーク化促進、知的・精神障害者の住宅入居促進支援を行い、障がい者等の地域生活の支援を行う。
- コミュニケーション支援事業費
聴覚、音声言語機能障害のために意思疎通を図ることに支障のある障がい者等に、手話通訳者の派遣等を行う。
派遣見込回数 48 回
- 移動支援事業費
屋外での移動が困難な障がい者（児）について、外出のための個別的支援及びグループへの支援を行う。
個別移動支援見込人員 30 名
グループ移動支援団体数 2 団体
- 地域活動支援センター事業費
障がい者等に、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進などの事業実施と当該事業者への助成を行う。
地域活動支援センター（社会福祉協議会委託）利用見込数 53 名
革工房瑞樹就労者数 5 名
- 訪問入浴サービス事業費
身体障害者（児）の居宅生活支援のため、訪問による入浴サービスを行う。
利用見込人員 1 名
- 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費
旧法における施設入所（通所）の利用者が必要な更生訓練費の支給及び施設入所していた障がい者が退所し、一般就労等を行う場合の就職支度金の支給を行う。
更生訓練費給付 15 名 就職支度金給付 2 名
- 社会参加事業費
視力障害者等の情報提供のため、市広報誌等を点訳又は音声等により作成を行う。
- 日中一時支援事業費
障がい者等の日中における活動の場の確保、介護者の一時的休息を行うための日帰りショートステイ、介護者等の就労支援及び養護学校等の長期休暇中の支援を行うための障害児タイムケアを行う。
日帰りショートステイ利用見込数 15 名 障害児タイムケア利用見込数 2 名
- 社会参加等事業補助金
障がい者等の社会参加を促進するため、手話通訳者の養成、スポーツ・レクリエーション指導員の養成に係る経費の助成を行うとともに、障がい者等の団体のボランティア活

動の支援を行う。

スポーツ・レクレーション指導員養成助成 2名

手話通訳者養成助成 1名

要約筆記通訳者養成 2名

障がい者団体ボランティア活動支援 登別回復者クラブ「ひまわりサークル」
(会員数15名(平成20年1月末))活動支援)

26 特別障害者手当等支給経費

重度の障害により、日常生活において常時介護を必要とする障がい者(児)に手当を支給し、障害により必要とされる負担の軽減を図る。

特別障害者手当 65名 障害児福祉手当 50名 経過的福祉手当 9名

27 重度心身障害児介護手当支給経費

心身に重度の障がいのある児童の保護者に対して支給し、障がい児の福祉の増進を図る。

対象者数 67名

28 重度障害者(児)福祉タクシー関係経費

重度の在宅障害者で、日常生活において一般交通機関を利用することが困難な状況を解消し、生活圏の拡大と経済的負担の軽減を図る。

支給見込 815名分

29 身体障害者自動車燃料費助成金

身体障害者の自立更生と社会参加を図るとともに、経済的負担を軽減する。

対象者数 26名

30 手をつなぐ育成会補助金

知的障害児の自立更生と福祉の増進を図る。

31 視力障害者協会補助金

視力障害者の自立更生と福祉の増進を図る。

32 身体障害者福祉協会補助金

身体障害者の自立更生と福祉の増進を図る。

33 肢体不自由児(者)父母の会補助金

肢体不自由児(者)の療育と福祉の増進を図る。

34 小規模通所授産施設(すずかけ作業所)運営経費

通所により指導員の指導のもと作業及び生活の訓練を行う。

通所者 7名(平成20年1月末現在)

35 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金

精神障害者の自立に向け社会復帰施設に通所する交通費の一部を助成する。

36 精神障害者通所授産施設運営費補助金

医療法人社団千寿会が運営している通所授産施設（定員30名）の運営費の一部を補助する。

37 乳幼児医療費助成経費

	平成20年度予算	平成19年度決算見込
受診件数	39,272件	38,141件
医療助成費	74,975千円	72,790千円
1人当り医療助成費	26,776円	29,529円

38 重度心身障害者医療費助成経費

	平成20年度予算	平成19年度決算見込
受診件数	22,425件	21,773件
医療助成費	151,248千円	146,841千円
1人当り医療助成費	116,345円	112,695円

39 ひとり親家庭等医療費助成経費

	平成20年度予算	平成19年度決算見込
受診件数	10,763件	10,452件
医療助成費	27,873千円	27,060千円
1人当り助成医療費	16,205円	15,534円

40 登別温泉ふれあいセンター運営管理経費

公共施設として、市民の福祉増進、市民相互間の交流及び地域社会活動のため、施設の運営、管理を行う。

図書コーナー、パソコンコーナー、展示コーナーなどの設置

41 消費者行政推進経費

消費相談業務や啓発事業、商品試買量目調査等を登別消費者協会へ委託する。

42 消費生活モニター関係経費

市が委嘱する消費生活モニターが、生鮮食料品や日用雑貨などの35品目について、月1回、価格変動や商品陳列の状況（商品供給状況）、産地表示の状況などを調査する。

モニター 8名

43 消費者協会運営助成金

物価の調査や監視、消費生活相談など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会を支援する。

フリーマーケット・不用品ダイヤル市の開催

44 消費生活展開催補助金

より良い消費生活の普及と消費者の知識向上を図るため消費生活展を主催する登別消費者協会に助成する。

3 民生費 2 高齢者福祉費

- 1 老人趣味の作業所運営等経費
高齢者の創造性を高め、老後の生きがいを豊かにする。
- 2 老人クラブ連合会補助金
高齢者福祉活動の中心的な役割を果たす老人クラブ連合会が行う事業を支援する。
主な活動内容 親睦会、スポーツ振興、女性部研修会、
交通安全研修会、ボランティア活動
- 3 老人クラブ補助金
老人クラブを通じ、老後の生活を健全で豊かな生きがいのあるものとするとともに、老人福祉の増進を図るため、単位老人クラブに補助する。
平成20年度見込数 45団体 3,000名分
- 4 敬老会補助金
地域に貢献してきた高齢者を祝福するため、町内会等が行う敬老行事を支援する。
平成20年度見込数 8,162名
- 5 特別養護老人ホーム増築事業資金借入金元利補給金
特別養護老人ホーム増築（デイサービスセンター併設）に係る借入金元利補給金。
交付先 社会福祉法人 登別千寿会 期間 平成10年度～平成29年度
- 6 老人憩の家整備委託料
老朽化した老人憩の家の維持・補修を行う。
- 7 老人憩の家共和園建替事業費
市営住宅（鷺別東団地）の除却に伴い解体される老人憩の家共和園の建替事業費
建設場所 登別市栄町1丁目10番地12、13、14
敷地面積 569㎡（用地取得） 規模構造 木造平屋建 延べ床面積約152㎡
- 8 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定経費
高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行い、平成21年度から平成23年度までの計画を策定する。
- 9 在宅高齢者保健福祉推進支援経費
在宅高齢者の保健福祉向上のため、支援を行う。
・高齢者等緊急通報機器設置：平成20年度新規設置予定台数 10台
・電話・移送サービス：電話サービス対象予定数 8人、移送サービス 年間契約
- 10 外国人高齢者・障害者福祉給付金
在日外国人高齢者・障害者で無年金者に福祉給付金を支給する。
支給予定者数老人分 3名

11 社会福祉法人利用者負担軽減助成金

低所得者で特に生計が困難である方について、介護サービスの提供を行う社会福祉法人が利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図るため助成する。

12 老人医療費助成経費（道老分）

平成20年3月診療分をもって老人医療費助成事業が終了するため、平成20年度は平成20年3月診療請求分までの医療費助成を行う。

	平成20年度予算	平成19年度決算見込
受診件数	874件	11,627件
医療助成費	4,000千円	31,800千円
1人当り医療助成費	14,285円	70,982円

13 後期高齢者医療療養給付費負担金

平成20年度から始まる後期高齢者医療制度に係る療養給付費 524,000千円を北海道後期高齢者医療広域連合へ負担金として支払う。

14 後期高齢者健康診査経費

75歳以上の後期高齢者に係る健康診査を北海道後期高齢者医療広域連合からの委託により行う。

3 民生費 3 児童福祉費

1 子育て支援センター運営経費

育児に不安などを感じている保護者に、育児相談や子育て講座を開催し、保護者の不安解消を図るとともに、子育て週間の啓発、子育て情報誌の発行、移動子育て広場を開催するなど、子育て家庭を支援する。

主な事業

子育てネットワークの充実及び子育て情報誌の充実
子育てサポーター及び地域子育てボランティアの育成
地域巡回子育て広場の開催
父親開放日「おとうさんと遊ぼう」の開催 等

2 家庭児童相談室・母子自立支援員経費

母子家庭の親や寡婦の自立と児童福祉の向上を図るため、母子自立・家庭相談員を配置する。

母子自立・家庭相談員 1名配置

3 災害遺児手当支給経費

父母などが、交通事故などで死亡もしくは重度の障がいの状態となったとき、その児童を養育する保護者を支援する。

平成20年度支給見込者数 5名

- 4 仕事と家庭両立支援（ファミリーサポートセンター）事業費
保護者の仕事と子育ての両立できる環境をつくるため、ファミリーサポートセンターを開設している。
平成18年度末
依頼会員349名、提供会員124名、両方会員87名 合計560名
活動状況3,383件／6,515時間／預かり人数延3,383名
- 5 こどもショートステイ経費
児童の養育が疾病等により一時的に困難になった家庭の児童を児童養護施設で養育する。
- 6 児童入所施設措置費（助産施設分）
経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦を助産施設に入院させ、もって母子福祉の向上を図る。
- 7 母子家庭等自立支援給付事業費
- 常用雇用転換奨励給付金
短期雇用として採用した母子家庭の母親を、常用雇用労働者に転換した場合に、一定期間経過後、事業主に対して奨励金を支給する。
 - 自立支援教育訓練給付金
母子家庭の母親の職業能力開発を促進するため、「指定講座」を受講し職業能力開発を行う者に対して教育訓練後、自立支援教育訓練奨励金を支給し、母子家庭の自立促進を図る。
 - 高等職業訓練促進給付金
専門的な資格の取得を容易にするため、母子家庭の母親が2年以上の養成機関で修業する場合に、一定期間、訓練促進費を支給し、生活費の負担を軽減する。
- 8 産後子育てママ派遣事業費
産後間もない母親の家庭で、育児・家事等を支援する家族がいない世帯に対してヘルパーを派遣し、安心して日常生活が営めることができるよう支援する。
- 9 普通保育所運営管理経費
共働きや病人の介護などにより家庭における児童の保育が困難な世帯に、安心して子どもを生み育てることのできる環境と、充実した保育サービスを提供する。
平成20年2月1日現在入所児童数 436名（登別保育所を除く）
富士保育所 115名 鷺別保育所 116名
栄町保育所 112名 幌別東保育所 93名
- 10 登別保育所運営管理業務委託料
登別地区幼保一元化事業を推進するため、登別保育所の運営を「学校法人登別立正学園」に委託する。

11 特別保育科目実施経費

○ 交流事業

保育所入所児童が、人々との交流を学ぶため、高齢者や異年齢児との交流を行う。

実施保育所 富士・鷲別・栄町保育所（高齢者及び小学校との交流）

幌別東保育所（異年齢及び高齢者との交流）

登別保育所（高齢者及び小学校等との交流）

主な事業内容 ミニ運動会、伝承あそび、ゲーム大会、老人福祉施設訪問等

○ あそびの広場

地域の乳幼児を持つ保護者等を対象に子どもとの関わりや遊び方を指導し、育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深める。

開催回数 中央子育て支援センター8コース（1コース5回）

登別子育て支援センター6コース（1コース7回）

実施内容 親と子のあそび、手あそび、運動あそび、砂あそび、シャボン玉あそび等

12 障害児保育実施経費

心身に障がいのある児童や発達発育に心配のある児童を受け入れ、児童の健全な成長発達を促すため全保育所で実施する。

平成19年度 10名

13 延長保育実施経費

保護者の勤務地や勤務時間などの都合による保育時間の延長ニーズに対応するため、全保育所で延長保育を実施する。

14 休日保育実施経費

保育所に入所している児童の保護者が、日曜日・祝祭日の勤務により家庭での保育が困難となったときに、その児童を富士保育所で保育する。

15 一時保育委託料

保護者が、疾病や事故、災害などで一時的に家庭での保育ができないときに、児童を登別保育所で保育する。

16 保育所広域入所委託料

勤務地の関係から、他市町村の保育所へ入所を希望する保護者の利便性を図るため、他市町村の保育所で児童の保育を行う。

平成20年度委託児童数（見込） 4名

17 のぞみ園運営管理経費

心身に障がいのある児童が通園し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う児童デイサービスセンターの運営管理経費。

児童デイサービスセンター利用見込み数 50名

18 児童館・児童センター運営管理経費

安心して子どもを生み、健やかに育つ環境をつくり、地域で担う子育てを支援するため、児童館などに児童厚生員を配置し、遊びを通して児童の健全育成を図る。

平成18年度利用者 延べ 57,620名

19 放課後児童クラブ運営経費

放課後児童クラブは、就労などにより昼間保護者のいない児童が、放課後や夏・冬・春休みの期間中、安心して過ごせる場所として設置している。

富岸青少年会館内・常盤児童館内・若草小学校内・老人憩の家（桜木の家）内・幌別西小学校内

定員 概ね30名

開館時間 授業のある日 放課後から18時まで

授業のない日 9時から18時まで

閉館日 日曜日、祝日、年末年始

20 (仮称) 鶯別児童クラブ整備事業費

鶯別小学校の余裕教室を活用し、市内6か所目の放課後児童クラブを開設する。

改修事業費 8,500千円 面積 63㎡ 定員 30名程度

開設月日 平成20年10月1日(予定)

※改修事業等は、小学校夏休み期間中を予定している。

3 民生費 5 交通安全費

1 交通安全推進経費

幼稚園や学校、老人クラブなどで交通安全教室を行うとともに、交通安全運動を通じて市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努める。

交通安全啓発運動の推進

交通安全教育の推進

交通安全啓発看板、旗等の設置及び維持管理等

2 交通傷害保険料

少額な保険料で、交通事故により傷害を受けた市民を救済するための保障制度。

交通安全意識の高揚、市民交通傷害保険の加入促進

3 交通安全協会交付金

交通安全思想の普及や高揚を図るため、指導教育活動や広報活動などの活動を行う交通安全協会を支援する。

交通安全市民運動の推進、交通安全教育広報活動の推進

主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導

高齢者に対する交通安全思想の普及

4 照明灯設置事業費

交差点などの交通安全対策のため、幹線道路や通学路などに照明灯を設置する。

テーパーポールタイプ照明灯(110W) 1基

- 5 カーブミラー設置費
見通しの悪い交差点等にカーブミラーを設置し、交通事故の防止を図る。
設置数 2～3基程

- 6 美園57号線歩道新設事業費
歩道新設工 L = 72m W=2m
車道改良舗装工 L=186m W=6.5m
転落防止柵 一式

3 民生費 6 災害救助費

- 1 災害見舞金
災害で被害を受けた市民に対し、災害見舞金を支給する。